

平成26年度 北保健センター運営協議会 摘録

日 時：平成26年8月28日（木）午後2時～3時15分

場 所：北保健センター2階 講堂

出 席：21名（欠席 8名），事務局7名

（司会） 西村健康づくり推進課長

1 長谷川北区長 挨拶

委員自己紹介

事務局より本会の出席人数について報告

出席（代理出席を含む）が過半数を超え，協議会の成立を確認

事務局職員紹介

2 議題・報告

- (1) 部会長，副部会長等の選出等について（司会 西村健康づくり推進課長）
林委員を部会長に，田中委員を副部会長に選出
林部会長が京都市保健協議会に委員として出席することを確認

（議長 林部会長）

- (2) 北保健センターにおける事業について

① 平成25年度事業報告

（説明 西村健康づくり推進課長，杉山衛生課長）

（質疑応答）

・委員

結核登録状況について，患者数の表の見方を教えてほしい。

（回答 西村課長）

24年12月末患者数が68人，24年1月～12月に新たに結核と診断された方が39人，25年1月～12月に結核が治癒した方が32人で，結果25年12月末の患者数が75人ということである。

・委員

BCG 予防接種の接種率が98.8%ということであるが，未接種の方への接種勧告は実施しているか。

（回答 西村課長）

生後5カ月の全員に、はがきを送付することにより勧奨を実施し、8カ月健診でBCG接種済かどうかを必ずチェックし、まだの方には勧奨を再度行う。1歳以降は法律で定められた接種ではなくなるが、1歳半健診、3歳児健診でも受けるよう指導をしている。

・委員

精神障害者という単語が資料に出ている。「害」という字は非常にきつい印象を与え、当事者への配慮から「がい」とひらがな表記をする取組が広がっているが、京都市ではどのように考えているのか。

(回答 西村課長)

御意見はもつともであると受け止めるが、京都市の統一見解として、今現在は「害」をひらがな表記にすることにはなっていない。

(回答 奥村部長)

保健福祉局の方にも、必ず御意見をお伝えする。

②平成26年度の取組報告

(説明 西村健康づくり推進課長, 杉山衛生課長)

(3) 意見交換

・委員

北区で25年度に700余りの出産があったということであるが、一方で、お産のできるという病院が減っているという大変厳しい状況がある。お産のできる病院が北区に1つもないという現状に対し、何か保健センターとして取組を考えているのか。

(回答 西村課長)

大きな問題として認識はしているが、お産をやめる病院に対する働きかけはできていない状況である。

・委員

まちなこ支援事業について、詳しく教えていただきたい。

(回答 杉山課長)

地域猫は自治会で飼っていただくことが前提。獣医師会の協力により無償で避妊手術を行い、野良猫が一代限りの命を全うする仕組み。地域でいる猫を1代限りで面倒を見てもらうというもの。

糞尿の処理が最も問題になるところであるが、自治会でその処理をし、地域で飼ってもらうということである。

・委員

キノコバエについて、患者さんからも多く相談を受けた。健康被害は心配ないということでよいか。

(回答 杉山課長)

キノコバエは基本的に、刺すこともなく、毒もない、万一食べたとしても、問題ない。不快ということだけである。要因としては農薬散布が減っていること、温暖化が考えられるが、調査をしてもどこが発生源かということは明確にならない。御質問の健康被害についてであるが、心配はない。今のところアレルギー症状が出たとの情報は無い。

(4) その他

9月6日北文化会館で開催の北医師会医療フォーラム

「高血圧って？」～高血圧の合併症を防ぐために～について

・御都合がよければ、参加をいただきたい。

3 奥村センター長 閉会挨拶

本日はお忙しい中、ご出席を賜り、ありがたく思っている。また貴重な御意見をいただいた。先ほど事業報告をさせていただいた歯ッピープロジェクトは、この運営協議会でいただいた御意見をもとに誕生した事業である。本日皆様からいただいた御意見もしっかりと受け止め、事業に生かして参りたい。今後とも御協力をお願いする。

(以上)